



## 《秋を楽しんでいますか》

スポーツの秋、食欲の秋、芸術の秋、そして、読書の秋・・・皆さん、いろいろな秋を楽しんでいますか。今回は、ゆったりと心に染み入る読書のお供になりそうな、おすすめの本を紹介します！また、令和4年10月3日から、新サービスを開始しました。一度に借りられる本などの冊数が、増えました。これを機に、市立図書館にも、ぜひ足を運んでみてくださいね。



### “読書の秋”にぴったりの おすすめの本はこちら！



高田由紀子ほか／著  
『君色パレット』

(岩崎書店)

多様性をテーマに、「いつもそばにいるあの人」にスポットを当てて描かれる4つのショートストーリー。身近な人とのやり取りを通して考えさせられる1冊。物語を「君色」で見つめるシリーズ。(担当T)

小坂康之／著 林公代／著  
『さばの缶づめ、宇宙へ行く』

(イーストプレス)

「宇宙食、作れるんちゃう？」一人の生徒の何気ない一言からすべては始まった。福井県の水産高校を舞台に、地元の特産品のさば缶が、宇宙食として認定され、宇宙飛行士が食べるまで…10年以上もの時をかけてパトンをつないだ先生と生徒達の物語に、夢中になります。(担当I)

原 佐知子／著  
『10代からのSDGs』

(大月書店)

SDGsは、年齢やジェンダー、障害、民族等の違いを生かして、多様性を大切にすることを土台としています。身近な取り組み例を通して、自分自身を見つめ直すきっかけにもなりそうな1冊です。(担当N)

小手鞠るい／著  
『文豪中学生日記』

(あすなろ書房)

私立女子中3年の春希は、紀貫之に重ねて、自分の性別とは逆の男になりきって日記を書き始める。春希の書く日記を軸に、学校生活やSNSに投稿している詩を挟んで展開される作品。(担当T)

穂積良洋／著  
『不滅のウイルス』

(文芸社文庫)

著者は小学3年生で白血病を発症して、17歳と半年の若さで、その人生を終えた。白血病の研究をして、自らの手で終わらせたいと願い、難問を解決した数学者にちなみウイルスという名前前で日常をブログにつづった。学校や病院での生活を赤裸々に書き、不条理な病に不屈の精神で闘った高校生の記録。(担当I)

城一夫／著  
『世界のふしぎな色の名前』

(グラフィック社)

「月の涙」「クレオパトラ」「思ひの色」「霧につつまれた恋」…。一体、どんな色だと思えますか？流行色から今も残る伝統色まで、ふしぎな名前色が166色も紹介されています。ホッと一息、癒しの時間となりそう…。(担当N)



### 川口市立図書館 新サービスの紹介！ (令和4年10月3日から)



#### ★貸出点数が増えました！

図書・雑誌・紙芝居  
CD・DVD

旧10点 → 新20点へ  
旧3点 → 新5点へ



※CD・DVDの予約点数も3点→5点へ増えました。

#### ★電子図書サービス開始！

利用に必要なもの

・川口市立図書館利用カード (オレンジ色のカード)

・パスワード

※利用カード・パスワードをお持ちでない方は、川口市内図書館への来館が必要です。

～利用できる点数と期間～

貸出点数：3点

貸出期間：2週間 (次に予約のない本は1度だけ延長可)

予約点数：3点

予約取置期間：1週間 ※貸出点数・予約点数は、紙の本とは別に数えます。



## 《川口市立高等学校の図書委員会の皆さんによる館内見学と対談》

川口市立高等学校の図書委員会の生徒さんが、中央図書館に館内見学に来てくれました。普段はなかなか見られない、図書館内の舞台裏を見ていただいたり、生徒さんから図書館司書への質問をいただいたりと盛りだくさんでした。



～図書館司書による  
点字図書・録音図書の解説の様子～

この度は、見学にお越しいただきありがとうございます。日々、素敵な学校図書館を作り上げようと努力している皆さんの思いと熱心な姿勢に、とても感銘を受けました。私たちも改めて学ばせていただいたと同時に、これからも皆さんが利用したいと思える公共図書館を目指して頑張っていきたいと思いました。ぜひまた図書館に来てくださいね!

図書館司書一同より



## ～生徒の皆さんの見学の感想より～

今回の図書館見学会では、川口市内の図書館で働く職員の方々の仕事の内容や中央図書館での多くの年齢の方への工夫、図書館の設備などを見させていただきました。数多くの工夫がされている中で、目の見えない方に対しての点字や音声の本、拡大機など、様々なサポートもあり、全ての方が使いやすい図書館だと感じました。中央図書館では、全国から本を取り寄せることができるので、是非一度中央図書館を利用してみたいと思いました。

(3年Oさん)

図書館の裏側や、司書さんたちのすごさを実感した。大変そうだけど、やりがいがありそうだと感じる事ができた。私は本を読んだり、ちょっと文章を書いたりすることが好きで、川口市出身なので、いつかあそこに本を置いてもらおうかと思った。

(1年Sさん)



## ～生徒さんからの質問タイムより (一部紹介)～

Q1 ティーンズコーナーにある本で、一番読まれた本は何ですか?

A1 「まなの本棚」 芦田 愛菜/著 小学館 2019.7 参考: 64 回貸出 (2022.7 月集計)  
「香君 上」 上橋菜穂子/著 文藝春秋 2022.3 参考: 予約163件 (2022.7 月集計)

Q2 1年間で、どのくらい新しい本が入るのですか?

A2 令和3年度は1年間で 16,222 冊 (中央図書館) / 43,175 冊 (全体)

★川口市立図書館においてほしい本の要望等、ぜひ教えてくださいね!



## 編集後記



- ・“天高く馬肥ゆる秋”爽やかな風が心地よい季節です…。大根おろしたっぷりで、秋刀魚を食べます! (担当 N)
- ・おすすめの本として紹介させていただいた「不滅のワイルズ」は、見学にいらした市立高校の生徒さんに教えてもらったことがきっかけで、読み始めました。貴重なきっかけをありがとうございました! (担当 I)
- ・10月に入り急激に冷え込む日が多くなりました。衣替えをして、年度の残り半年に備えます。 (担当 T)